

令和2年8月21日

学校関係者評価委員会報告書

学校法人 札幌青葉学園 北海道歯科衛生士専門学校
自己評価委員会・学校関係者評価委員会

学校法人 札幌青葉学園 北海道歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は、自己評価委員会において作成された令和元年度自己評価報告書に基づき学校関係者評価を実施したので、以下の通り報告いたします。

記

1. 日 時：令和2年7月28日（火） 19：30 ～ 21：00

2. 場 所：北海道歯科衛生士専門学校 1F 会議室

3. 学校関係者評価委員（敬称略）

<委員長>

進藤 正信 （天使大学・教授）

<委員>

有坂 一男 （医大前歯科診療所・院長）

齋藤 紫穂 （医療法人仁友会 日之出歯科真駒内診療所・歯科衛生士 士長）

千葉 祐加 （医療法人仁友会 日之出歯科診療所・歯科衛生士）※欠席

及川 佑季子（昼間部1期生）※欠席

4. 事務局

吉田 重光 （北海道歯科衛生士専門学校・校長）

中村 麻希 （北海道歯科衛生士専門学校・昼間部教務主任）

窪田 康花 （北海道歯科衛生士専門学校・夜間部教務主任）

益田 友美 （北海道歯科衛生士専門学校・昼間部教務副主任）

吉田 香 （北海道歯科衛生士専門学校・事務長）

5. 学校からの説明

令和元年度自己評価報告書について

6. 学校関係者評価委員による評価結果

項 目	評 価
<p>基準1 教育理念・目標</p>	<p>○教育理念・目的・育成人材像は明瞭に定められ、臨地実習等の実践的なカリキュラムを組むことで、本校の目標とする即戦力としての人材を育成することが可能となっていることは、高く評価される点である。現今の社会・歯科業界のニーズに対しての教育は考えられているが、将来的な方向性についてはより一層の情報収集が求められる。季刊の学園誌を発行し、学生・保護者への通知を行うことは評価されるが、学校の理念・目的等について保護者会等の関連する人々へより一層周知することが必要と思われる。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>○理事会を中心とした学園運営方針の策定、これに伴う事業計画の立案、事業計画の達成度についての報告も行われ、適切に運営されていることが示されている。ホームページを中心に情報公開を積極的に行っていることは評価できるが、紙媒体やホームページ以外の SNS を用いた情報発信も必要と考えられる。情報システムを用いた業務の効率化については端緒についたばかりであり、今後の発展が望まれる。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>○新カリキュラムの導入を図り、重複した講義内容の整理・統一により、学生の授業の理解度の向上が図られており、さらに令和4年度からのカリキュラム再改定に向けた取り組みを行っており、教育理念に沿った体系的なカリキュラムの編成を進めていることは評価できる。一方、授業評価の実施・評価体制については学生からの授業評価を行っているが、公開授業等、教員相互の評価体制の構築は未だ行われていないため、今後の客観的評価システムの構築が望まれる。</p> <p>○臨床実習においては、学生により習熟度や心構えに個人差があるため、全員がある程度のレベルになるように、実習前の指導をお願いしたい。また実習先としても学生に充実した実習を提供していきたいと思っているので、実習指導者と学校の教員側との密な連携を取っていきたい。</p> <p>○今後の歯科衛生士には医療機関内で経営面に貢献する機会も増えていくと考えられるため、カリキュラムの内容にも盛り込んでいくことが期待される。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>○国家試験合格率は開学以来ほぼ100%であり就職率も100%であることなど学修面の成果に関しては非常に高い評価が与えられる。一方、毎年数名の退学者がでることは仕方のないことではあるが、担任2人制をとり、さらに保護者との連携を密にすることで改善を図っており、今後の成果が期待される。同窓会が発足し講習会や研修会を定期的を開催することが予定されており、卒業生および在学生のキャリア形成への効果が期待される。</p> <p>○退学率の軽減については、入学段階では必ずしも歯科衛生士への意欲の強い学生ばかりではないため、一年生の早いうちに歯科衛生士という仕事の魅力に気づけるようなカリキュラムの組み方をしてはどうか。</p>

<p>基準5 学生支援</p>	<p>○各学年で担任2人制をとることで進路・就職に対する支援や学生相談について十分な改善策を設けていることは評価される。さらに、日本学生支援機構などの外部奨学金の積極的紹介に加えて学園独自の奨学金制度を発足させ経済的な支援を行っていることは大いに評価されるべきと考える。一方、卒業生への支援体制は同窓会を発足させたばかりで今後既卒者への十分な支援体制の整備が望まれる。</p> <p>○卒業生への支援体制として、同窓会を通じたネットワーク作りが進んでいるとのことで、卒業生に対する就職先の紹介システム等、今後の展開に期待したい。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>○学内の教室・実習室等は十分な環境を維持しているが経年劣化に対する補修等が今後必要になることも考えられ、この点に関する備えが必要と思われる。</p>
<p>基準7 学生募集</p>	<p>○夜間部の学生募集については、社会人をターゲットにしているため難しい面も多いと思われるが、昼間部に関しては、定員の50名を確保できるように、募集活動の成果が出ることを期待している。</p>
<p>基準8 財 務</p>	<p>○ホームページを多様に活用しており、情報公開も適切に行っている。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>○個人情報の保護対策に関しては、学校法人での規程が制定されたとのことで、引き続き整備に期待したい。</p>
<p>基準10 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>○社会貢献・地域貢献はすぐには難しいかもしれないが、少しずつ実現していったほしい。</p>

以上